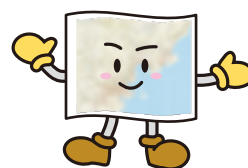




主催 (一財) 日本地図センター
(公財) 国土地理協会
後援 国土交通省国土地理院



地図地理検定

— ミニ検定 (地図展2025) —

解答・解説

【ミニ検定問 1 の答え】 ⑤

【ねらい】 植生と地図記号とを一致させる能力を問う。

【解 説】 ①は畝が列状に並び、そこで栽培したネギを収穫しているところを撮影したものです。野菜のほとんどを耕作する畑ですが、地図記号は果樹園になっているため誤りです。畑の地図記号は、発芽した双葉の形を記号化したものです。②はブドウの実がなっている樹木が見えることから果樹園ですが、地図記号は竹林のため誤りです。③は黄色い穂がある稲を収穫していることから田ですが、地図記号は畑になっているため誤りです。田の地図記号は、稲株（稲を刈り取ったあとの状態）の形を記号にしています。④は列状の畝があり畑にも思えますが、複数の防霜ファンがあることから茶畑と判断します。茶の新芽が霜で凍結して枯れてしまうことを防ぐために、防霜ファンが設置されています。茶畑の地図記号は、茶の実を半分に切った時に見える形を記号にしたものですが、地図記号は田のため誤りです。⑤は針葉樹林の杉で、地図記号も針葉樹林であり、これが正しい組み合わせです。⑥は竹林ですが、地図記号は茶畑のため誤りです。

【ミニ検定問 2 の答え】 ②

【ねらい】 地理院地図を読み取り、地図の情報と過去の自然災害とを結びつける能力を問う。

【解 説】 アには複数の噴火口があることから、噴火による自然災害伝承碑と推測することができます。これは長野県木曽町で2014年6月18日に発生した噴火による自然災害伝承碑です。ウは河川沿いに自然災害伝承碑があります。これは福井県福井市で2004年7月18日に発生した洪水による自然災害伝承碑です。一方でイは、山と河川ともに近い位置にありますが、山に噴火口はみられず、自然災害伝承碑が山麓に位置していることがポイントになります。これは秋田県仙北市で2013年8月9日からの集中豪雨で発生した土石流による自然災害伝承碑です。よって正解は②です。

【ミニ検定問 3 の答え】 ②

【ねらい】 地図から村落や都市の形態と成立過程を考察する能力を問う。

【解 説】 まず、イの注記に「大潟村」とあることから、秋田県大潟村だと判断できます。ここはかつて琵琶湖に次ぐ日本で2番目の面積を誇った湖沼の八郎潟でした。1957年に干拓工事が始まり、日本農業のモデルとなるよう1968年には第1次入植者による耕作が開始されました。1977年に干拓工事は完工し、総事業費は852億円ともいわれています。つまり大潟村の開発時期は昭和時代です。

次に地理院地図中の注記で、居住地名に着目してみましょう。ウにある「東旭川町下兵村」という注記から北海道旭川市であることが推測できます。北海道の開拓のいくつかは屯田兵によるものといわれています。屯田兵とは明治時代に北海道の警備と開拓にあたった人のことです。注記の「兵村」に名残がみられ、区画が碁盤の目のようになっています。つまり、この地域の開発時期は明治時代です。なお、この地の入植は1892年で、地理院地図北部にある博物館は「旭川兵村記念館」です。

アには「中富」という注記に加え、細長く整備された農地を地理院地図から確認することができます。これは江戸時代に開拓された新田集落です。主要道路や開拓路といった道に沿って両側に建物（家屋）が列状にあり、畑などの農地が短冊形に並ぶといった地割りです。道から屋敷地―耕地―平地林となっていることが特徴です。平地林の落ち葉を屋敷地で堆肥とし、堆肥化された落ち葉を畑地に入れて土壌改良をおこなうという循環型の農法は、「武蔵野の落ち葉堆肥農法」として日本農業遺産に認定されています。所沢市の中富地域と、同じく所沢市の下富地域、三芳町の上富地域をあわせて三富新田とよばれます。よって、開発時期が古いものから順に、ア→ウ→イとなり、正解は②です。

【ミニ検定問4の答え】 ⑤

【ねらい】 地形図の情報から地図記号を考察する能力を問う。

【解 説】 まず、三角点や等高線から、この地域一帯の標高が100 m 前後であることを読み取ります。駅名の一部の「越後」は新潟県の旧国名であり、新潟県内を示していることがわかります。出題の範囲はおおむね6 km² で、その中に同じ地図記号が4 つあることがわかります。

①は電子基準点で、三角点と電波塔の記号をあわせたものです。測位用の人工衛星からの電波を連続観測し、正確な測量をおこなうために、国土地理院が設置した基準点の場所を表示します。電子基準点は全国約1,300 か所に約20 km 間隔で設置されていることから、図のように密集することはありません。②は煙突で、煙突とその影や煙を組み合わせる記号にしたものです。高さがおおむね60 m 以上のものを表示しますが、地図記号の近くに大きな工場や建物がみられないため、誤りです。③は噴火口・噴気口で、火口の形と火口からの煙の形を組み合わせる記号にしたものです。火山の火口などで噴火・噴気しているものや数年の休止期をおいて噴火・噴気が予測されるものを表示します。しかし、この地域の標高が100 m 前後の平地であることから、当てはまりません。④は温泉で、泉源の湯壺と湯けむりを組み合わせる記号にしたものです。温泉法にもとづく温泉・鉱泉を表示します。新潟県では144 の温泉地があるとされていますが、該当の範囲にはありません。

⑤は油井・ガス井で、これは現在採取中のもので目標となる施設を有するものを表示します。日本は天然資源に乏しい国といわれますが、北海道や秋田県、新潟県などで石油・天然ガスの生産があります。とくに、「南長岡ガス田」は日本最大級の天然ガス生産施設を有しているといわれています(朝日原の注記の左にある施設)。つまり、●で隠された地図記号は油田・ガス井で、これが正解です。なお、ここで生産された天然ガスは、埼玉県や東京都、静岡県にまでパイプラインによって輸送されます。

⑥は警察署で、交差させた警棒を丸で囲んだ記号です。大都市部では、駅の東側と西側に交番がある場合もありますが、警察署の場合は、通常は1 つまたは複数の市町村で1 か所です。図のように密集することはありません。

【ミニ検定問5の答え】 ②

【ねらい】 統計資料から都市の特徴を考察する能力を問う。

【解 説】 まず昼夜間人口比率が高いアは、周辺地域から通勤・通学してくる人が多いことがわかります。また、市域に占める面積割合が小さいこと、市制施行66 年後に分区したことから、京都市南区が当てはまります。現在の南区は、1889年の市制施行時は下京区でしたが、1955年に分区して誕生しました。その後、京都市は、1956年に横浜市・名古屋市・大阪市・神戸市とともに政令指定都市となった背景があります。

南区の面積が市域の半分を占める広大なイは、札幌市南区です。札幌市南区は、定山渓や国営滝野すずらん丘陵公園などをもち、また東京特別区の面積よりやや広いです。

残ったウはさいたま市南区です。昼夜間人口比率がとても低く、これは鉄道の場合、15 分ほどで東京都(北区の赤羽駅)に着くこと、乗り換えなしで東京駅や新宿駅までつながっていることなどから、東京都への通勤・通学が多いことによります。よって正解は②となります。

